



2013

豊かで 住みよい 町づくり



VoL.

49

上勝

議会だより

2013. 5. 1 発行

3月 定例会

- 2P 美しいまちづくり条例 など
- 3P 24年度補正予算 25年度予算
- 4P 25年度 緊急雇用事業
地域おこし協力隊制度導入
- 5P 一般質問 7名が町政について質問
- 12P まちのようす



第1回
定例会

会期	14日
開会	平成25年3月8日
閉会	平成25年3月21日

条例制定・改正、意見書

- 3月8日
・簡易給水施設条例の一部を改正する条例
- 3月21日
・持続可能な美しいまちづくり基本条例の制定
- 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
- 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定
- 指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関し必要な事項を定める条例の制定
- 町道の構造の技術的基準を定める条例の制定

質疑討論の結果すべて可決

- 町道に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定
- 移動等円滑化のために必要な町道の構造に関する基準を定める条例の制定
- 準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定
- 町営住宅の整備基準を定める条例の制定
- 水道法施行条例の制定
- 町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 常勤の特別職の給与及び旅費支給に関する条例の一部を改正する条例
- 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例
- 教育振興基金条例の一部を改正する条例
- 乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

議員発議

- 議会委員会条例の一部を改正する条例
 - 議会会議規則の一部を改正する規則
 - オスブレインなど米軍機の低空飛行訓練中止を求める意見書
- 質疑の結果すべて可決

条例制定

持続可能な美しいまちづくり基本条例について

質疑

渡部議員 景観条例を作ると言っていたが、美しいまちづくり基本条例との関連は。

反対討論

森副町長 自治制を役場が支援する。負担は一般的な考え方である。

笠松町長 直接関係ない。景観条例を作っても地元の人々が自主的にやっていたいかなければ仕方ない。作れば規制がかかることとなる。

賛成討論

明本議員 第2条、区域内とは。名その他の組織とは。

森副町長 11の名組織があり、構成は大小あり。

明本議員 町民等参画する自主性は、又町民の応分の負担とは。

片山議員 町内に住む者は条例によって統一される。

採決の結果5対2で可決

平成25年度 一般会計予算

質疑討論の結果
5対2で可決

総額

26億 600万円

平成25年度 特別会計

質疑の結果可決

総額

8億 1,947万8千円

収入				支出			
当初予算を家計に例えてみました							
収入の種類	収入(円)	構成比(%)	平成25年度の歳入	支出の種類	支出(円)	構成比(%)	平成25年度の歳出
年収	164,205	5.4	町税	借入金の返済	389,228	12.8	公債費
預金取崩し	602,086	19.8	繰入金	家の購入・改築車の購入など	577,760	19.0	普通建設事業費 災害復旧費
雑収入 (パート収入等)	133,797	4.4	使用料・手数料 分担金・負担金 財産収入・諸収入・寄附金	衣 食 費	583,841	19.2	人件費
前の年の節約	12,163	0.4	繰越金	自治会費・交際費 同好会費など	276,716	9.1	補助費等
親からの援助	1,225,459	40.3	地方交付税	子どもへの仕送り	221,981	7.3	繰出金
	139,879	4.6	国庫支出金	電気・水道・消耗品など	620,331	20.4	物件費
	316,247	10.4	県支出金	教育費・医療費	264,553	8.7	扶助費
	45,613	1.5	地方譲与税	預金	48,654	1.6	積立金
	18,245	0.6	地方消費税交付金	家、車などの修繕費	36,490	1.2	維持補修費
	12,163	0.4	その他の交付金	生命・損害保険など	6,082	0.2	投資及び 出資金・貸付金
新しい借入金	370,983	12.2	町債	急な支出に備えて準備	15,204	0.5	予備費
計	3,040,840	100.0		計	3,040,840	100.0	

年収の額は、町の25年度当初予算額を町の世帯数で割算したもの

25年度当初予算額	26億600万円
世帯数	857世帯
年収の額	3,040,840円

平成24年度 一般会計補正予算

補正第6号

質疑の結果可決

補正額 1億 1,340万7千円を追加して
総額 29億8,002万6千円とした

平成24年度 介護保険特別会計補正予算

補正第3号

異議なく可決

補正額 1,523万1千円を減額し
総額 3億5,472万7千円とした

主な一般会計補正額

- 道路新設改良費 9,000万円
- 国土調査事業費 5,540万円
- 森林基盤整備事業 2,200万1千円
- 林道建設費 513万2千円

主な特別会計補正額

- 居宅介護サービス給付費 ▲900万円
- 介護予防サービス給付費 ▲360万円
- 施設介護サービス給付費 ▲240万円



福原 新田 博枝氏

教育委員会委員の
任命に同意しました。
任期 平成25年4月1日より
平成29年3月31日まで



岩本文昭 議員

3期12年の笠松町政を問う 岩本

大所高所に立って 真善美を追求してきた

町長

問 笠松町政12年間で特に思い出に残る意義深い行政の成果を10項目にしばって述べていただきたい。

答 笠松町長 町村合併を見送った、林道の側溝を廃止して路面排水にした、特区でボランティアの有償輸送ができた、養護老人ホームの民営化ができた、住宅整備によりリターン者の受け入れができた、ゼロウェイスト宣言して、ゴミの分別資源化が進んだ、スクールバス、代替バスを一体化して民間委託ができた、JAの給油所が高鉾地区に確保できた、「人生、いろどり」の映画で上勝

問 上勝町を持続可能な最も美しい町にするために重要な課題はなにか。

答 笠松町長 3セクの経営は町政より難しい。町長が取締役に入ると非常勤であっても取締役会に出ざるを得ない。国、県の支援もいかに受けるか考え、議会とも協議してやって行く。

問 5社の第3セクター今後の対応は。

答 笠松町長 縦割り行政の打破、多種多様な情報が入ってくる中、適切な判断をして課長からも意見を聞き持続可能な町づくりを進めてきた。

問 町政発展のため、最も大事に考え努力してきた事はなにか。



春の棚田（府殿）

答 笠松町長 上勝町が生き残るためには地域資源を使って地域に職場をつくり住む、住宅の整備も大事であり他力本願ではためである。

問 役場幹部職員は同年代の人が多く、同時退職した場合、行政に支障はないのか。又、後継の人材育成はどの様に考えてきたのか。

答 笠松町長 職員の削減に努めてきたので構成にバランスを欠いている、一度に退職すると事務事業に支障を来たす。人材確保は再雇用で補って行きたい。法律でも義

問 土須峠付近の国道にあたる場所での通行可能であるのに進入禁止の柵があるなぜか。

答 長岡建設課長 市町村道として各関係自治体が協議、管理しているが全体の50%程度は

スーパー林道について

答 笠松町長 それもあるが、いち早く国、県の最新の情報を首長や課長が入手して、常に内部情報をつかんでいることが大事である。課長や担当者の熱意が大きい。

問 予算の獲得については今まで国、県、政治家と笠松町長個人の付き合いで確保できていたのでは。町長が代われれば今後どうなるのか。

務付けられたので嘱託等で補う事は可能である。毎週課長ミーティングを行っている。重要なことは課長会で論議しているし、情報の共有もできている。

谷口地区の集落再生について

問 谷口集落は現在再生を目指し頑張っているところである、希望と活性化のためにも将来の町営住宅の建設も含め宅地造成ができないか。

答 笠松町長 谷口、大北が一体となり、美しい集落推進協議会をつくっていただいている。これには地域のまとまりが大事であり、検討には値する。地元で具体的になり、正式に要望書を上げていただいたら、調査を検討する。

答 桑原企画環境課長 この地域のコア会議にも出て情報収集している、正式に提案があれば各課と相談して調査を実施したい。

主な質疑

平成24年度
一般会計補正予算

松下議員 生実八重地線に関して、工事現場へ行くのに遠回りしている。町道瀬津野尻線を改良して延長してはどうか。

笠松町長 地形的にも良いので地元でも検討してほしい。

長岡建設課長 町道部分改良が必要となる。県費を支線で使えるかどうか難しい。

武市議員 神明杉地線の進捗状況は。杉地線とつながると聞いていたが。

長岡建設課長 今年度95%の進捗である。残り300m位である。今回は旭区のみである。杉地喰田側から要望がきていない。

町営住宅等の整備基準を定める条例について

岩本議員 住宅に町の木材を使用するよう書けないか。

長岡建設課長 条例には明記できない。

平成25年度 一般会計予算

片山議員 電源立地交付金は、福川以外の地域に使えないのか。

笠松町長 福川が一番不利益をこうむっている。福川で必要がなくなれば他にまわせる。

明本議員 第3セクターのような個人経営的な事業者のために、町費で仕事するのは違法だ。

笠松町長 第3セクターは町と個人が株主だ。役場には経営、経理に詳しい人がいない。

渡部議員 第3セクターの連絡員として、元徳島銀行の社員が役場に1人、上勝バイオには2人入っている。おかしくないか。

笠松町長 バイオは徳銀が手を引いたらおしまいだ。

平成25年度 緊急雇用創出事業費

事業概要

地域の雇用失業情勢が厳しい中、失業者等の雇用機会を創出するため、地域の実情、創意工夫に基づき雇用の受け皿を創出する事業。

民生費

- | | | | |
|---------------------|---------|----|----|
| ●学童保育充実強化事業 | 326万4千円 | 社協 | 1人 |
| ●生活福祉資金相談支援体制充実強化事業 | 231万円 | 社協 | 1人 |
| ●ボランティア活動活性化事業 | 165万5千円 | 社協 | 1人 |

農林水産業費

- | | | | |
|----------------|---------|--------|----|
| ●上勝町遊休農地活用事業 | 1,270万円 | 高鉾建設 | 3人 |
| ●菌床しいたけ産地化推進事業 | 730万円 | ㈱上勝バイオ | 8人 |
| ●林業の新商品開発事業 | 520万円 | ㈱もくさん | 1人 |
| ●菌床しいたけ生産拡大事業 | 350万円 | ㈱上勝バイオ | 2人 |
| ●香酸柑橘の果皮利用研究開発 | 200万円 | 阪東食品 | 2人 |

商工費

- | | | | |
|---------------------|-------|-----------|----|
| ●観光資源を活かした商品開発 | 530万円 | ㈱カミカツーリスト | 3人 |
| ●薬草の里づくり開発提供事業 | 480万円 | ㈱いっきゅう | 2人 |
| ●遊休農地を活かした定住促進の構築事業 | 420万円 | NPO法人郷の元気 | 3人 |
| ●人材確保育成事業 | 340万円 | ㈱いろどり | 1人 |

地域おこし協力隊 制度導入(特別交付税)

ねらい

都市住民の受け入れで、地域おこし活動の支援や農林漁業の応援、住民の生活支援など「地域協力活動」に従事してもらい、あわせて定住・定着を図りながら、地域の活性化に貢献。

国からの支援

1人 400万円
(報酬 200万 + 活動費 200万円)

期間

1年以上 最長3年間

平成25年度 11名の受け入れ予定事業所

農業後継者	㈱上勝バイオ	3人
森林流域振興計画による森林労務者	㈱もくさん	4人
薬草栽培・商品開発	㈱いっきゅう	2人
上勝ファンクラブ創設	㈱いろどり	1人
移住交流	役場	1人



明本 恵一 議員

明本

12年間の 評価を問う

問 いちばん大の成果は何か。

答 笠松町長 ソフトとハードに分けて答える。ソフト面では、ゼロウェイスト政策の設立。ハードでは林道構造改良。側溝を廃止し、大きな節減になった。

問 いちばん改革すべきは。

答 笠松町長 ゼロウェイスト政策の推進だ。

問 次期町長に継承してもらいたい事は。

答 笠松町長 国の広域行政には安易に飛びつかない事だ。例は、し尿処理問題。町も、住民も大きな負担となった。

問 いちばんの反省点は何か。

答 笠松町長 国の広域行政には安易に飛びつかない事だ。例は、し尿処理問題。町も、住民も大きな負担となった。

オスプレイの飛行

問 オレンジルート飛行、環境面からも、抗議すべきだ。

答 桑原企画環境課長 四国町村長会で中止の申し入れをした。今後、目撃情報を収集する。

問 最後に真善美に照らしてもう一点、加入者宅内3点セットは町有財産となった証拠書類はあるか。

答 笠松町長 備品として管理している。

持続可能エネルギー

問 エネルギー公社を設立し、大型風力、大型太陽光、小水力、バイオマスなどの開発に着手すべきだ。

答 桑原企画環境課長 地職住が実施しているのを見極めて検討したい。

答 横山産業課長

今後の技術動向を見て進めるべきと思う。



実力のある小水力を提案する

高齢者の地域密着型介護について

問 町の人口減少がひどい。過去5年間の高齢者の人口の動態は。

答 桑原住民課長 この5年間で
転入 27人
転出 34人
死亡 182人 である。

問 介護地域密着型介護サービスをやるよう法改正があった。もっと居宅訪問サービスを充実させるべきだ。

答 桑原住民課長 定期巡回、随時対応型訪問介護や看護、複合型サービスが追加された。参入するサービス業者があれば町も努力する。

12年間の町政について の総括は

松下

自己評価は70点

町長

問 第1期町政の取り組みと結果は。

答 笠松町長 19年間に及ぶ町職員時代の土木建設等ハード事業から人口減の将来を見据え環境分野に重点を置き、新上勝町活性化振興計画を基に林道の路盤工化・ごみの分別資源化・有償ボラ

問 第2期町政の重点施策は。町内視察者が増えているが。

答 笠松町長 養護老人ホームの民間委託だ。2億円使ったが長い眼で見てよかったと思う。

もう一つ勝浦町・上勝町高度情報通信網の整備の実施により、結果として彩農業にうまく活用でき、2期目は過疎債等有利な起債を多用できた。

問 3期目の集大成について、棚田サミット・映画「人生、いろいろ」等々あるが。



修景と手入れ（生実奥谷）

答 笠松町長

3期目は、集落再生に取り組んだ。51集落の内、29のプロジェクトを自主的に進めて貰っているが、町はあくまでも支援の立場だ。各地で成果が出て神田茶屋・野尻地区の修景等々進行中、過疎法の延長もあり映画「人生、いろいろ」等も1／3位の実質支出で済んだ。国の緊急雇用等で6億円利用出来た。集落再生には地域おこし隊の活用・高齢者の見守りサービス等々も自己評価できる。

町勢について 人口推移は

問 平成13年・17年・24年の町人口推移は。

答 桑原住民課長

平成13年2,238人、17年2,092人、24年1,869人となっている。5年後自然減を含む推計は1,694人、10年後は1,519人と予測でき、上勝町の振興計画推計値とはほぼ同じである。

Uターン者が 利用できる制度は

問 ーターン・Uターンの活用について

答 横山産業課長

国では平成24年度から人・農地プランの中で青年就農給付金を年間150万円、5年間。町単では年間120万円等の制度利用が可能だ。

（株）もくさんの今後について

問 第3セクターの中でいちばん不安定だ。町長の建直し策を具体的に聞きたい。

答 笠松町長

経営については今年度一番悪い。毎年社長が変わった。国の考え方では到底森林管理はできない。第3セクターの強みを活かして、流域森林管理計画を立て実施したい。又、地域林の商品開発を考え将来的には全国モデルになるよう展開したい。

問 いろいろマニュアル作成について、思い切った販売に転じては。

答 横山産業課長

生産者である彩部会との話で、町内での彩後継者育成のために作成したものであり、町費を出していても販売の予定はない。



片山文昭 議員

問 森林の活性化は、町内全域の施行計画を立て流域ごとに実施することが不可欠と思うが。

森林の活性化策は

森林経営計画を樹立し、森林施行など展開して結果により今後の流域計画等に反映させて行きたい

森林の活性化は施行計画が不可欠と思うが

片山

産業課長

答 横山産業課長
流川地区か杉地地区のどちらかをモデル地区とし、関係団体や森林所有者とともに森林経営計画を樹立した上で、各種森林施行などを展開してそ

問 ㈱いんどりが指定管理している藤川宿泊研修施設の利用状況は。

藤川宿泊研修施設の利用状況は

答 横山産業課長
㈱もくさん、森林関係者と協議したい。

問 施行計画について町費を支出する考えはないか。

答 桑原企画環境課長
平成24年度の稼動状況は、35・2％、延べ人員は84人が利用している。
問 平成25年度の利用計画はどうなっているか。



武市 功 議員

武市

建設課長

問 県道上那賀線、旭、中村、丸上木材上手の拡幅未改良区、用地について協力をいただける条件は整ったが、状況は。

答 長岡建設課長

新年度予算で家屋等の補償費の算定にかかる事業費は確保されている。その後はその算定ができてからになる。

町内地すべり地域指定の概要、その対応状況は

問 地すべり地域指定が課題で道路改良、避難所指定等で障害となっている面も。その概要と対応策は。

県道上那賀線課題の箇所、早期改良を

用地確保の事業予算はついている

答 長岡建設課長

平成12年度調査、地元聞き取り調査で過去近年継続的な地すべり変動の情報はなく、小規模な沈下、ずれ崩壊の変状は、主に表層の崩積土中のひずみが反映されている可能性が高いと推察さ



県道上那賀線未改良区(旭中村)

答 長岡建設課長
国土交通省所管指定地、14箇所、農林水産省所管、12箇所、指定されていない集落は8箇所である。

対策事業の内容は、排水路工、排水ボーリング工、抑止杭等の工法で実施。

問 旭、中村の千年の森ふれあい館裏山周辺の調査状況結果は。

問 大平中央線周辺は、もされていない。

答 長岡建設課長

地質ボーリング抗4抗の観測結果、中腹より上部で累積変位の測定があったが緊急性を要する変動が発生する可能性は乏しく、微小ながら断続的に変異継続が発生と判断されている。

排水ボーリング、排水路工を実施している。

問 多大な費用を投じての施策である、全戸配布

いろいろ栽培マニュアル、真に役立つものに

されるものか、マニュアルを見て関心を持ちやる気が出てくる可能性もある。

答 横山産業課長

いろいろ生産者後継者育成用のマニュアルとの位置づけで、ただ単に全戸配布は想定していない。

雇用推進事業利用状況は
問 24年度の利用状況、事業効果は。
答 横山産業課長
8事業体で21名雇用金額は1事業所で829万、90万の範囲で利用、平成22年度からの事業である。その時点から2名が現在も継続して雇用が続いている、これが事業効果である。

答 横山産業課長

いろいろ部会では高齢化による後継者不足を大変危惧している。役員方を中心に協力いただけています。

問 この事業申請受付での審査は。

答 横山産業課長

要綱に照らしあわせて審査。

問 出荷の仕方でも販売できるシステムがあるようだが、その仕組み、準備、待機等のテクニクも示されるのか。

答 横山産業課長

一緒に含めて考えている。

問 申請したら、必ず認可されるような状況とも思われる。自助努力を怠る企業とならないことを願い、偏った補助金の使途にならないことを要請する。
答 横山産業課長
集落連絡道の維持費についても質問した。

診療所下にある沈砂池もしくは、排水池の管理は

問 沈砂池、もしくは、排水池の異物等が見受けられるが検査は実施したか。

答 桑原住民課長

排水時等の水質検査に付いては実施していない。

問 下流には、小学校のプールへの給水ポンプが設置されているので、定期的に検査を実施して頂きたい。



診療所下沈砂池



渡部 厚子 議員

渡 部

企画環境課長

ボランティアに宿泊所を

内容の見きわめが必要

問 集落再生事業などでボランティアが多くなり受け入れ先の負担も大きい。

特に宿泊の費用が双方に重い。

ボランティアの宿泊料を補助、もしくは宿泊所を提供できないか。

藤川の研修施設は35%しか使われていない。ここを開放するのもいい。

答 桑原企画環境課長

ボランティアにもいろんなパターンがある。藤川の宿泊施設を活用するにしても費用が発生するので、事業、相手、内容を見きわめる必要がある。

問 インターシップでは宿泊は無料、受け入れ先に謝礼がでる。地域おこし協力隊では年200万円報酬が出て、宿泊費も補助金で払える。

ボランティアは自己負担が当然とは云え、あまりに不公平な気がする。

また、町内でボランティアをしたい人を一括して受け入れの世話をする窓口が必要ではないか。

答 桑原企画環境課長

いろいろな事業があるが、ボランティアが何をしにくるかで窓口も変わる。今後検討していきたい。

とりあえず個々のボランティアについてはこちらに相談してくればよい。

「日本で最も美しい村」加入は30を越えたが

問 以前に、加入町村が30を越えれば効果が出ると言っていたが。

答 笠松町長 現在49

団体が加入している。まとまったことで「世界で最も美しい村」連合へ加盟できた。フランス大会には町職員2名が行った。事務所が北海道から東京に移転した。ガイドブックが出版された。加盟町村が相互に視察に行ったり来たりしており、スキルアップの効果も出ている。

ただ、5年毎の審査に合格しないと外される。努力し続ける必要がある。ので励みにもなる。

問 今、町長が言ったことは、効果ではなく組織の活動だ。その結果として効果があったのか。加盟仲間での内部需要でなく、それ以外の人に来てもらうのが目的だ。

白川村は合掌造りの村のすぐ横に広大な駐車場を作って宿泊客は殆んどなくなり、景観もこれ世界遺産の資格を取り消されるかもしれないとのことだ。

答 笠松町長 総合的

な効果の発揮が重要である。「日本で最も美しい村連合」、世界連合をいかに活用して自ら持続可能な美しい村をつくることだ。

連合からのアドバイスは何かもなかったのか。

答 笠松町長 大北・

谷口・野尻など、先進地を見て頂いて自主的に活動している、シェアカフェ、農家民宿もできて、効果は出ている。

白川郷は150万人も人が来て嬉しい悲鳴を上げていると思う。連合がどう言おうが自ら決めることだ。

問 それぞれの活動は連合と関係なくやってきた、だからこそ連合から上勝町に加盟しないかと声がかかったのだ。

加盟団体として事務的な負担もある。効果に見合わなければ審査に落ちる前にやめてしまってもいいんじゃないか。

答 笠松町長 総合的

な効果の発揮が重要である。「日本で最も美しい村連合」、世界連合をいかに活用して自ら持続可能な美しい村をつくることだ。

いくつかを考えるべきで、加盟自体は悪くない。

雑紙の抽選は終わるのか

問 ゼロウェイストアアカデミーの雑紙救出の1万円抽選が3ヶ月で終る。費用負担がNPOには厳しいのだから、続けた方が良くないか。

答 桑原企画環境課長

紙類の焼却を減らす実験活動で、重要な取り組みだ。財源の話も踏まえて協議してゆきたい。



吹き矢で当選者が決まる（写真はイメージです）

大気汚染PM2.5
毎日報道されているが

鹿 島

外出時にはマスクを着用
手洗い、うがいを

住民課長

問 大気汚染のPM2.5、黄砂の影響を毎日報じられているが、町民に対しての指導は。

答 桑原住民課長

徳島県にはPM2.5の測定は、徳島市・阿南市・美馬市の3ヶ所で測定し

ている。呼吸器の奥深くまで入り込みやすいので、人体への影響が懸念されている。徳島県保健所等からは、今のところ特別な注意喚起情報は入っていないが、外出時にはマスクの着用、手洗い、うがいをするように。

問 持続可能な美しいまちづくりについて、どのような成果があったか。

答 笠松町長 福川ト

ンネル入口の花や南岡の施設周辺の桜、傍示トンネルの下ユキヤナギ、瀬津高畑の花、野尻の花等自分の住んでいるところが、美しくないと楽しくないので、今後も、町民自ら、美しい集落にしようと追い求めていきたい。

問 町道の危険箇所の今後の工事は。

答 長岡建設課長

管理している路線が177、道路延長が189kmある。路肩の下がりのひどいところは災害復旧事業で、又財政の状況をみながら、町単事業で危険箇所の解消に努めたい。気がついたことがあれば連絡をいただきたい。

瀬津地区の今後の水道計画は

問 瀬津地区の今後の水道計画は。

答 長岡建設課長

中瀬津地区の整備を進めるべく、当初予算に4,000万円計上している。高畑地区・谷口地区については、水源地の確保に向けて引き続き検討していきたい。

問 上勝町・神山町の風力発電の環境評価の調査の進捗状況は。又、東簡易水道の水源地の水量調査は。

答 桑原企画環境課長

環境影響評価は1年ぐらいいかかる。春夏秋冬、季節ごとに調査する必要がある。今年の冬より始めているところだ。水量調査は2月12日に建設課の人と調査した。

問 鳥獣害防止柵の進捗状況は。又今後の補助は。

答 横山産業課長

21年に7集落で22、450m、22年に6集落で21,400m、23年に4集落で20,100m、24年に5集落で23,950m。25年度も補助はある。次年度以降については、県にも情報が入っていない。町としては財源確保に引き続き国や県に要望していきたい。



鹿島 國男 議員



福川橋周辺の桜

まちのようす



小学校卒業式



完成した府殿簡易水道



修景進む野尻地区



彩公園の桜



オーナーの棚田選び（榎原の棚田村）



地域案内板（八重地集落再生プロジェクト）

編集後記



新町長が誕生した。
国政も町政も大変な時、志を持つて立ち上がった花本氏に敬意を表したい。

笠松前町長の影響力は町外にも大きく、名も知られた方であった。その名も実も受け継ぐ新町長は苦難の道を歩まざるを得ない。

議会も一致協力して花本町長を楽にしたいが、役務上そうはいかない。

厳しい目でチェックしてゆくの、よろしく。

（渡部）



桜花爛漫（旭公園）